社会資本総合整備計画　　防災・安全交付金

平成30年12月27日

計画の名称	酒田市中心市街地へのアクセス改善と賑わいを創出する社会資本整備（防災・安全）													
計画の期間	平成３１年度　～　平成３５年度　(5年間)											重点配分対象の該当		
交付対象	酒田市													
計画の目標	舗装の長寿命化修繕計画など、道路施設の計画的な補修を行い、今後老朽化する施設を適切に維持・修繕を行うことにより安全性を高め、中心市街地へのアクセス改善を行い観光施設等の賑わいを創出する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	660	A	660	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初	H33末	H35末
1	道路長寿命化修繕計画における道路のうち修繕実施済み道路の割合を算出し、54.7%（H31当初）から62.2%（H35末）に増。			
	道路長寿命化修繕計画の修繕工事を進めることで、道路交通の安全性が確保される道路比率。 （修繕実施済み道路割合）＝（修繕実施済み道路延長）÷（道路長寿命化修繕計画策定道路延長[148㎞]）	55%	59%	62%
2	市の観光施設入込数について年間360万人を目標とする。			
	市の観光施設入込数 観光入込者数の数値は酒田市総合計画及び酒田市中長期観光戦略で定めている360万人を目標とする。	320万人/年	340万人/年	360万人/年

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－

案件番号：　0000056190

A 基幹事業

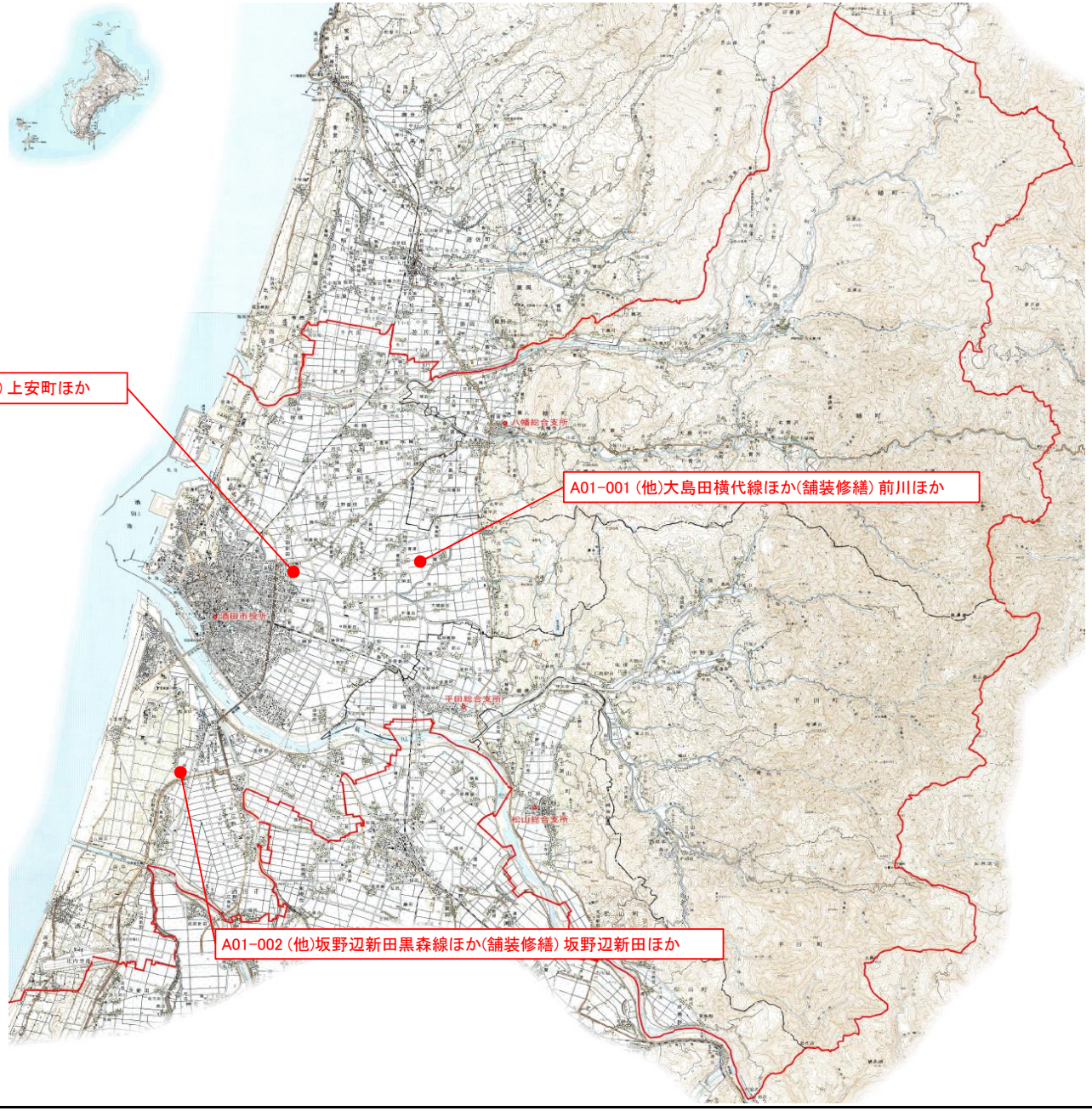
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H31	H32	H33	H34	H35	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	酒田市	直接	酒田市	市町村道	修繕	（他）大島田横代線ほか	舗装修繕（路上路盤再生）L=1.4km	酒田市	■	■				104		策定済
	A01-002	道路	一般	酒田市	直接	酒田市	市町村道	修繕	（他）坂野辺新田黒森線ほか	舗装修繕（打換）　L=9.6km	酒田市	■	■	■	■	■	376		策定済
	A01-003	道路	雪寒	酒田市	直接	酒田市	市町村道	雪寒	（他）上安町富士見町線	防雪柵　L=0.9km	酒田市		■	■	■	■	180		―
											小計						660		
											合計						660		

案件番号： 0000056190

別紙５－２

参考図面（防災・安全交付金）

計画の名称	22　酒田市中心市街地へのアクセス改善と賑わいを創出する社会資本整備（防災・安全）		
計画の期間	平成31年度　～　平成35年度　（5年間）	交付対象	酒田市



事前評価チェックシート

計画の名称： 酒田市中心市街地へのアクセス改善と賑わいを創出する社会資本整備（防災・安全）

事　前　評　価	チェック欄
I.　目標の妥当性 １）上位計画（酒田市総合計画及び酒田市中長期観光戦略）と整合性が確保されている。	○
I.　目標の妥当性 ２）整備計画の目標が地域の課題解決へ向けた対応となっている。	○
II.　計画の効果・効率性 １）定量的指標が整備計画の目標達成へ向けた指標となっている。	○
II.　計画の効果・効率性 ２）定量的指標の定義及び算定式がある。	○
II.　計画の効果・効率性 ３）事業内容が整備計画の目標達成へ向けた内容となっている。	○
II.　計画の効果・効率性 ４）事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものになっている。	○
III. 計画の実現可能性 １）事業内容が法令に合致している。	○
III. 計画の実現可能性 ２）県（市）が実施することが妥当である。	○
III. 計画の実現可能性 ３）交付要綱の交付対象事業に合致している。	○
III. 計画の実現可能性 ４）計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○

案件番号：0000056190